

福井県子連



通信

第2号

(全正会員・市町事務局)

全体委員会

6月5日(日)1:00~3:30...全正会員

会場：生活学習館 1階 101, 102

内容：正会員全員が一堂に会し今年度事業について確認すると共に、各委員会に分かれて具体的な取組を協議する。

※午前中は三役会・事業推進委員会(理事監事)があります。

前号につづき、全子連記念誌からもう一点転載させていただきます。

R2年度全子連表彰

「私の子ども会への思い」

大岸朝秀 敦賀市

子ども会のある研修会で私は、「**学校の勉強は頭でものを考えますが、この研修会では心でものを考えてください。**」と言ったことがあります。

私は子どもの頃、田舎育ちでしたので、小学校の同級生はたった8人、小学校は複式学級制でした。そのため学校でも学校外でも年上年下関係なく、先輩後輩という意識なく、同じ友達として一緒に遊んでいました。また、山間部の地域のため、冬には雪道を集団で登校するのですが、当時は道路の除雪も現在のように行き届いてはおらず、新雪の中を年長の子が先に歩いて踏み固め、後ろからくる年少の子でも歩けるように気を配り、学校に着くと玄関では、年長の子が年少のこの上着についた雪を払ってあげて一緒に教室までいくという当時のそんな光景がまだ脳裏に焼き付いています。

そんな学校生活や遊びを通して、年上の子に対して自分もあんな人になりたいという、一種の憧れや尊敬の気持ちが生まれ、心理学では「同一化」というのでしょうか…「同一化」とは他者が持っている優れた性質を自分自身の人格の内に取り入れたうえで、自分自身の存在を他者の内へと重ね合わせることによって自分自身の価値を高めていこうとする心の働きのことだそうですが、その「同一化」の気持ちが生まれ、これが自分の人格形成にも大きく影響していると感じています。

(中略)

敦賀市子連の行事でも、ジュニアリーダーが企画し運営もする行事がたくさんあります。ここでは小学生を指導するのですが、小学生にとってジュニアリーダーのお姉ちゃんやお兄ちゃんから指導を受けるときは、私たち大人の育成者が指導する時に比べて目の輝きが全然違って見えます。やはりジュニアリーダーに対する憧れや尊敬、同一化が生まれているのだと思います。

現在は、学校以外では異年齢の子ども同士の交流や、知らない子ども同士が交流する機会がなかなか得られない状況の中で、子ども会活動は唯一の交流の場を提供する活動だと思います。その活動を通して子どもたちが交流し、また、ちょっと年上のジュニアリーダーとの交流を通して連帯感が生まれ、思いやりの心が生まれ、感謝する気持ちが育まれ、また同一化のプロセスを経て心が成長し、人格が形成されていくのだと思います。凶悪な事件が多発する殺伐とした現代ですが、そんな時代だからこそ、このような人間形成ができる子ども会活動は、今後ますます重要になってくるのだと思います。そして、「**心でものを考える**」子どもたちがどんどん増えてくれたらいいなと思っています。

市町子連さんの情報も待っています(・ω・)♡

